

群馬県感染症発生動向調査情報（週報）

2017年 第 33 週（8月14日～8月20日）

平成29年8月22日

（定点当たり報告数）

■第33週の注目疾病

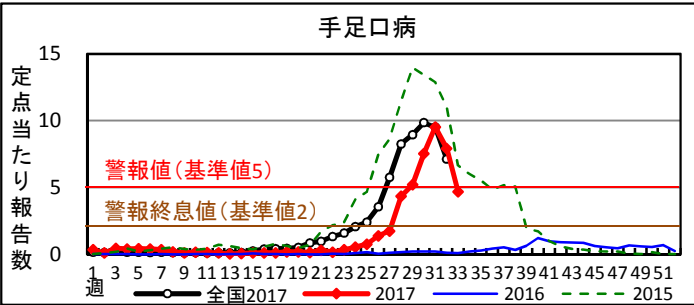
（ ）内の数値：定点当たり報告数

県内で多くの報告があった感染症及び地域は、次のとおりです。

- 手足口病：安中地域（10.00）、藤岡地域（9.00）、桐生地域（8.60）、利根沼田地域（7.75）、高崎市（4.89）
- ヘルパンギーナ：富岡地域（6.50）、藤岡地域（5.00）、高崎市（3.67）
- RSウイルス感染症：藤岡地域（2.50）、高崎市（1.78）、利根沼田地域（1.75）
- 咽頭結膜熱：富岡地域（1.50）
- 流行性耳下腺炎：伊勢崎地域（1.40）、太田地域（1.33）

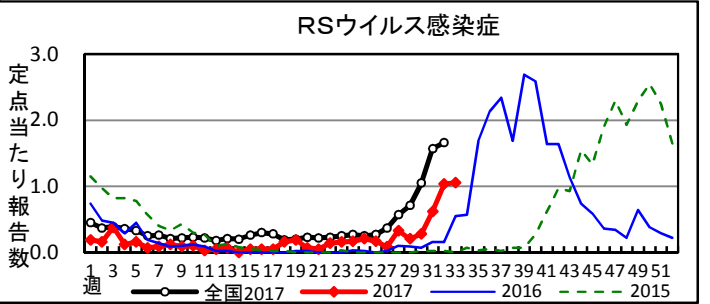
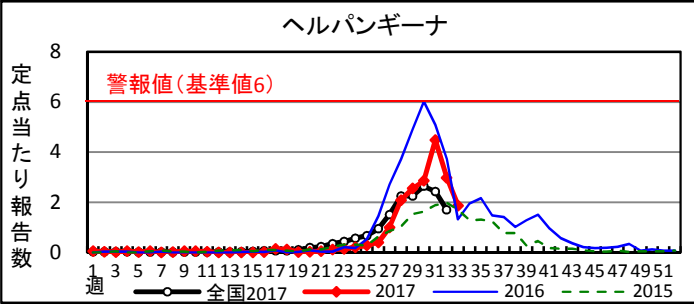
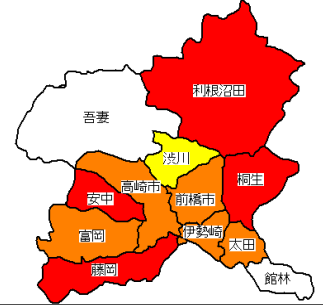
疾病名	第32週	第33週
手足口病	7.93	4.69
ヘルパンギーナ	2.98	1.87
RSウイルス感染症	1.03	1.06
咽頭結膜熱	0.48	0.41
流行性耳下腺炎	0.55	0.54

- ★お盆休みの影響により、第33週の患者報告の動向は参考値となります。
- ★県内で手足口病の警報が発令中です。警報値をやや下回りましたが、警報終息値を上回っています。



● 手足口病 地域別
定点当たり患者報告状況

- 5人以上
 - 3人～5人未満
 - 2人～3人未満
- ※赤色（5人以上）は、警報値以上の地域



■全数報告情報（診断日を基準に集計）

○第33週の報告

二類	結核	70歳以上	女	高崎市 保健所
二類	結核（潜在性結核感染症）	70歳以上	男	渋川 保健所
二類	結核	60歳代	男	桐生 保健所
二類	結核（潜在性結核感染症）	50歳代	女	太田 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	10歳代	女	高崎市 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30歳代	女	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	70歳以上	女	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	30歳代	女	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	10歳未満	男	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	60歳代	男	伊勢崎 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5歳未満	男	渋川 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	50歳代	女	桐生 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	40歳代	男	桐生 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	50歳代	女	桐生 保健所
三類	腸管出血性大腸菌感染症	10歳代	女	太田 保健所
四類	レジオネラ症	50歳代	男	前橋市 保健所
四類	レジオネラ症	60歳代	男	藤岡 保健所
四類	レジオネラ症	70歳以上	女	吾妻 保健所
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	70歳以上	女	前橋市 保健所
五類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	70歳以上	男	前橋市 保健所
五類	梅毒	70歳以上	男	渋川 保健所
五類	梅毒	40歳代	男	桐生 保健所

腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されました。手洗いを徹底し、肉は十分に加熱調理して、生野菜はよく洗うことが大切です。

全数把握類型別報告数（2017年群馬県累計）

二類	累計
結核	173

※173例のうち、50例は潜在性結核感染症です。
※「潜在性結核感染症」は、届出基準における「無症状病原体保有者」を意味します。

三類	累計
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	51
腸チフス	2

四類	累計
E型肝炎	10
A型肝炎	5
デング熱	6
ライム病	1
レジオネラ症	23

五類	累計
アメーバ赤痢	10
ウイルス性肝炎	6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5
急性脳炎	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
後天性免疫不全症候群	7
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3
侵襲性肺炎球菌感染症	26
水痘（入院例）	3
梅毒	42
破傷風	2
麻しん	2

【お問い合わせ先】

群馬県衛生環境研究所感染制御センター
電話：027-232-4881
メールアドレス：kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp